

2017年

1月号

福岡県連協活動報告

福岡県学童保育連絡協議会

〒805-0067 北九州市八幡東区祇園2丁目4-22
TEL093-662-6000・FAX093-662-6006
E-mail gakuforen@fukuoka-gkd.jp
発行・福岡県学童保育連絡協議会



皆様

あけましておめでとうございます。

福岡県学童保育連絡協議会（以下、福岡県連協）に加盟して下さっておられるクラブ・個人・賛助会員の皆様、働きながらの子育てを頑張っておられる保護者の皆様、そして支援員の皆様が共に協力し合い、日頃よりご尽力して下さっていることに感謝し、合わせて県連協へのご理解ご協力ありがとうございます。今年も皆様と共に学童保育施策の拡充に向けて活動していく所存です。（“年頭のあいさつ”は“ごあいさつ欄”にて発信しています。）これからもどうぞよろしくお願いします。

それでは2016年12月の活動を報告します。

12/4、 11/2~12/4

運営指針学習会（6ブロック会場）終了

2015年から施行された子ども子育て支援法と関連する法改正によって、学童保育事業も大きな改革が進められつつあります。「放課後児童健全育成事業」として各市町村の条例が制定され、また、「放課後児童支援員」という新たな資格制度もスタートしました。

さらに2015年3月、厚生労働省から発表された「放課後児童クラブ運営指針」は、国の基準（厚生労働省令第63号等）にそってどのような学童保育運営をめざすのか、が示されました。この指針は、私たち学童保育運営に関わるものにとって、大変重要な意義を持っています。

県連協は、各市町村及び事業運営者や保護者、支援員が「運営指針」の内容に沿った運営を実現するために今回の研修会を開催しました。県内6カ所の会場で延べ参加者124名となりました。「運営指針」を知らない方もまだまだ多く、集団的に学習の場を設けて深めることが今後の課題となっています。

12/4pm 第3回役員会

<主な協議事項>

1. 第35回福岡県学童保育研究集会の成功にむけて、実行委員会での準備状況を確認し、参加目標500名をめざして取り組みをさらに強化すること、特に保護者の参加を広げることを重点とすることを確認しました。
2. 県連協の半年間の活動をふりかえり、残る期間と来年度にむけての課題を検討しました。
 - ・ 新任支援員研修、主任支援員研修、出前研修等の実績と今後の課題

- ・福岡県の学童保育施策の拡充にむけた取り組み（県議会等）
- ・県連協への加盟促進、各地の加盟クラブへの支援や相談対応
- ・「日本の学童ほいく」誌の普及・拡大の取り組み

12/11am 第35回福岡県学童保育研究集会

第4回実行委員会

実行委員会も4回目を開催し、各分科会①熊本地震に学ぶ②一人にならない子育てを③行政と学童保育④支援員の仕事～やりがいのある仕事⑤どの子も楽しく過ごせる空間づくり～広汎性発達障害の子どもへの理解⑥発達障害児の理解と支援⑦特に配慮を必要とする子どもへの対応～学童が居場所となるために児童相談所から学ぶ⑧あそびのワークショップ・劇団風の子⑨子どもの心を支える絵本のよみ聞かせ⑩特設＝あそびの広場内容の確認をし、全体の役割分担など決めました。

参加される支援員・保護者・その他の方に「参加して勉強になった、良かった」と言っていただけの研究集会にしたいと関係者・実行委員会は頑張っています。皆様の多くの方の参加お待ちしております。！！

*お願い＝個人協賛：500円（討議資料に名前を記載します） 広告協賛：一口1500円
（詳細は福岡県学童保育連絡協議会まで）



12/11pm 第1回運営委員会

当日は様々なイベントが入り、少ない人数での運営委員会でしたが、県連協の事業報告、全国運営委員会出席における報告・情報・課題の提案等を行いました。地域報告からは、実施主体である市町村情報報告など、とても密な議論が展開されました。

12/13 厚労省「新制度説明会」

去年からお願いしておりましたがなかなかタイミングが合わず今年度に持ち越していましたが、今回、厚生労働省 雇用均等・児童家庭局総務課 少子化総合対策室より大津室長補佐が来てくださり、「新制度説明会」をして頂きました。国の子ども・子育て施策についての方針や方向性、放課後児童クラブの質と量の向上に向けての事業説明等を丁寧に説明して頂きました。

参加者からは、国の事業に対する市の意見や対応の在り方、障がい児加配事業、認定資格研修、処遇改善事業等、いろんな質問があり、大津室長補佐から丁寧に回答して頂きました。が、「我が市（町）はこういう理解をしている。これでは学童保育施策の拡充にはつながらない。是非国からも自治体に対してもっと説明してほしい」という声や、「こ

の説明会には市町村や運営者が参加してきちんと聴くべきでは！自治体参加が少ないのにびっくりしました」という声が届きました。今回 12 月議会が開催中というところもあったかと思いますが、県からも周知して頂いたにも関わらず自治体参加がとても少なかった結果として、こういう機会を逃さず参加して頂きたかったと県連協も感じています。福岡県において学童保育施策の拡充はまだまだ先の話かもしれません。県連協として、改めて拡充に向けて県市町村に働きかける活動を中心にしていくことを、確認し合うことになりました。

12/15 志免町学童保育連合会 出前講座④

4 つの学童保育の放課後児童支援員さん、補助員さん、事務局さん 2 名が約 20 名が参加してくださいました。④講座は『学童保育の生活づくりの実際』です。まず運営指針から学んだ後は、自分たちの学童保育ごとに分かれてグループワークをしました。自分の子どもの頃の放課後を思い出しながら今の子どもたちが学童保育の放課後の生活の違いを報告し合います。次は今の子どもたちと折り合いをつけて遊ばせてあげられるものはないか！遊ばせてあげたい！というものを報告～検討へ。そうして報告→議論し合っていくと自分たちの学童保育支援員間のコミュニケーション力へとつながり、その力が学童保育の子どもたちの生活の場を検討する上で大事であることが解っていきます。という流れで講座を行い、併せて“志免町支援員会”を立ち上げていくことを勧めてきました。

◎感想から

- ・支援員としての子どもの接し方を考えることが出来た。子どもだけではなく保護者との関係も良好にしていかなければならず、決まりやどうしてもさせてあげられないこともあった。関係を保ちながら子どもたちをいかに心から楽しく学童で過ごすことができるのか！時間をしっかりとって支援員同士団結し話し合わなければいけないのだと感じた。それぞれの考えがある。それを否定せず受け入れた中で、様々な意見を取り入れた結論が出せたら良いと思った。

- ・支援員の押しつけではない、子どもたちの気持ちをくみ取った生活づくりを目指していこうと思いました。また、保護者に対する声掛けの仕方のむずかしさ、大切さを感じました。ちょうど明日、支援員会議があるので、今日話を聞いて気持ちをしっかりと持って支援員同士のつながりを強めるようにしていきたいと思いました。“笑顔力”もちます！

12/17～18 全国運営委員会九州ブロック会議

◎年 1 回、地方別に開催される全国運営委員会九州ブロック会議が鹿児島県霧島市で開催されました。九州地区 7 県から代表が参加し、1 日目は 6 月 18 日開催予定の第 42 回全国学童保育指導員学校（九州会場）準備会、2 日目は全国運営委員会からの問題提起と参加者交流でした。

<第42回全国学童保育指導員学校（九州会場）準備会>

昨年度は、熊本・大分地震のため、中止となりましたが、今年度は2017年6月18日、春日市クローバープラザを会場に開催する予定です。子ども子育て支援法施行から2年が過ぎ、学童保育制度が大きく変わりつつありますが、各自治体の学童保育事業の実態は依然として厳しい状況であり、大規模化の解消、施設整備、支援員の処遇改善等が求められています。今回の全国指導員学校は、こうした状況の中で事業を支える放課後児童支援員の保育力量を高め、学童保育の社会的役割を高めることをめざします。

<九州ブロック会議>

全国連協からの問題提起としては、新制度の開始にともなって国の予算措置が進む一方で、各自治体の財政難から十分な対応が進んでいないこと、支援員資格認定制度の内容が適切に実施されているか等が出されました。また、支援員の処遇改善事業の実績が極めて低いことから、事業の位置づけを各自治体へ働きかける課題も上がっています。

九州の各県連協からの報告では、支援員認定研修の実施団体として取り組んでいる状況や組織強化の課題として加盟クラブを広げる取り組み等がはなされ、交流を深めました。

2016～2017 学童保育情報誌 発行
¥800-

全国連が毎年発行しています学童保育情報誌、2016～2017年版が発行されました。毎年春に行う調査を元に・・・及び国の流れや学童保育に対する通達等、学童保育に関する最新の情報をお届けします。行政との要望や交渉、懇談時に活用したり、運営の改善等に活用できます。

購入したい方は、県連協事務局までお願いします。

日本の学童ほいく誌！ 1月号のみどころ



【特集】

気持ちと思いを交わすー子どもとコミュニケーション

○簡単!おいしい!満腹!

おすすめ〇〇丼レシピ

○心の散歩道～たき火の思い出

...大工さんの言葉に感動♡

○子どものひろば

遠賀南学童保育クラブ6年生の

感想文が載っています♡

『交わす』ことの意味を、母の気持ち・父の気持ちから…学童保育の現場支援員から…北海道大学の小淵先生は実践事例から解りやすく説明！必見！！

☆子どもたちの作文やイラストを全国連に送り、子どもたちの作文やイラストを載せてもらいましょう！！ 開くのが楽しくなります。

詳しくは福岡県連協へ・・・

ほいく誌は、自ら購読して読むことが大事です！ 「学童に一冊ありますから」という声がありますが、そのほいく誌読んでおられますか？ 気になったところに線を引くことができますか？ 是非自ら購読してこそ自分のものになります。是非！！

購読申込待っています。 こちらも申し込みは福岡県連協へ・・・

<各種研修会案内>

申し込みはまだ間に合います！！

第 35 回福岡県学童保育研究集会

加盟クラブや加盟個人の皆様、そして各自治体に、配信しております。是非ご参加して頂き、皆様との出会いを、学び合いを楽しみにしております。申し込みはまだ間に合います。特に子どもたちの「あそびの広場」はもう少し入れます。ワクワク、ウキウキいろんな遊びを楽しみましょう。待っています！！

申し込みを迷っている方急いでください。

[参加についてのお問い合わせは県連協まで！ TEL093-662-6000](tel:093-662-6000)

<県連協活動予定>

★ 1月15日(日)AM 第35回福岡県学童保育研究集会第6回実行委員会

★ 1月22日(日) 第35回福岡県学童保育研究集会

HP をご覧になって、ぜひ加盟したいと思われたクラブ・個人・そして運営者の皆様へ

ご覧の通り、県連協は全国連とつながり、様々な情報を得ながら、学童保育を利用する全ての子どもたちへの育成支援、働きながら子育てする保護者への就労支援が出来るよう、情報提供や、県市町村への要望や懇談、相談業務、諸々の学習会を行い、皆様と共に頑張ろうと思っています。ぜひ共に！！

加盟して下さる場合は県連協事務局へご連絡をくださいませ

県連協事務局 ☎番号 093-662-6000 木下まで